



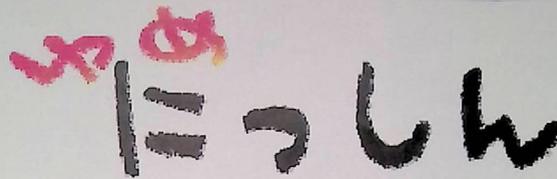
「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：地域の誇り・まちづくり日新広報部会
文京5-1-8 日新公民館
発行日：2013年6月20日

日新

苟日新 苟に日に新たに
日日新 日々に新たに
又日新 又日に新たなり

出典「大学」



声楽アンサンブル全国大会・銅賞

歌うことは楽しい！

一日新小学校合唱団一

4～6年生13名からなる日新小合唱団は、2月に開催された福井県ボーカルアンサンブルコンテストにて最優秀の成績を収め、一般の部の福井県代表団体として、3月23日に第6回声楽アンサンブルコンテスト全国大会（福島県福島市音楽堂で開催）に出場しました。



演奏曲は、「かくれんぼ」と「ウサギの耳」。2曲とも無伴奏で6パートに分かれて披露しました。一般、高校、中学校の部門にそれぞれ全国から40～42団体がエントリーした大会で、日新小学校は、一般の部門で銅賞を受賞し、全出場団体（123団体）から1団体に贈られる特別賞のカール・ホグセット賞も受賞しました。大きな舞台上、全国の歌うことが大好きな人たちの演奏を聴き、自分たちの演奏を聴いていただくことができたのは、とても良い経験でした。ますます、歌うことが好きになりました。

前日新小学校教頭 清水信子

第35回日新区民体育大会をふりかえって

日新体育振興会会長 加川潤一

去る、5月19日(日)に第35回日新区民体育大会が盛大に開催されました。当日は予報より少し早く、昼を過ぎる頃から雨がポツリポツリと降り出し、当初予定していたアトラクションや競技を入れ換えたり、中止したりで、何とかクライマックスの「人生リレー」まで終えることが出来ました。

さて、平成25年1月1日現在で日新地区には2,321世帯に5,529名の方が居住されています。福井市の人口264,873人の50人に1人の約2%の方が日新地区に居住されていることとなります。昨今の社会現象である少子高齢化も益々進展し、我が日新地区においても子供さんの数は年々減少し、日新小学校の児童数は各学年2クラスギリギリで273名とお聞きしています。



また、高齢化率は約25%で、4人に1人の方が65歳以上ということで高齢者の独居世帯も増加傾向で、これに伴い、地域における繋がりやふれあいの機会がますます減少していく中で、この区民体育大会は、おじいちゃんやおばあちゃんから子供さんの世代まで、地区が一体となって親睦を深められる、最大で絶好の機会だと思っています。



今年も、恒例のイベントとして藤島中学校吹奏楽部の皆さんに、入場行進では力強い演奏でオープニングの演出を、また、お昼のアトラクションでは日頃の練習の成果と楽しいパフォーマンスを披露して頂き、大会を盛り上げて頂きました。大変感謝申し上げます。



私もこの日新地区に住まいを構えてから、既に約25年の歳月が流れ、ほぼ同時期に日新体育振興会に入会（無理やり？）した訳ですが、まさか会長をやる羽目になるとは思ってもいませんでしたが、それもこれも時の流れ、地域の皆様を始め良き先輩や仲間達に支えられ、無事(?)実行委員長3期目を務めさせて頂きました。引き続き地域体育活動の発展と健康増進に向けて皆さんとともに進化していきたいと思っておりますので今後とも宜しくお願い申し上げます。



(写真は松井良忠氏撮影)

わがまちアート

<絵画>

海崎八重子さん(70) 文京5

海崎さんの絵画創作のきっかけは、50歳のときに、老後の生きがいづくりと認知症の予防にとパステル画教室に通い始めたことだそうです。

その後、デッサンを習った後、5、6年前から独学で油絵に取り組み始め、最近では「樹」をモチーフとした抽象画を、思いのまま、自由に描いていますとのこと。

完成した作品は市美展、県美展に出品しているほか、全国公募の主体展にも出品しておられるとのこと。市美展では、昨年は市長賞、今年は教育委員会賞を受賞されました(昨年の作品は公民館2Fに展示されています。)



「樹 ~甦る~」
(2013年 市美展出品)



2010年 主体展(関西)にて

日新春秋

みんなで美しいまちに

本年度も日新区では、まちづくり事業を推進していきます。前年と同様の環境・文化・交通・広報の4つの部会に分け、活動していきますが、企画主導するメンバーは新年度の自治会長さんやこれまでの仲間たち、総勢120名余りの大部隊です。こそって地区民の方々もご参加協力をお願いします。

色々な活動の中で、定常的なものとして、環境部会の呼びかけのもと、毎月第4日曜日の朝方に底喰川の清掃美化活動を行っています。直近では6月23日、7月28日に行ないます。

例年夏頃には川辺に大切に守り育ててきましたミノハギの赤紫の花が咲きにおい、今では地区自慢の観賞、憩いの場ともなっています。

人間はいつも見ているもの接しているものに似てくるといわれます。地区を象徴する底喰川が皆さんの手で綺麗な環境に維持され、美しいものに触れる場ともなりますから、それを足がかりに地区全体の環境美化活動に繋がればと思います。

きれいな花には蝶々が舞い、汚物にはウジなどが湧いてきます。やはり住む皆さんの関心と実践の手が必要ですよ。

道歩く足元のひとつのごみ拾いからでも違ってきます。一つだけ拾えばそれだけきれいになると。

志は高く、実践は足元からでしょうか。

まちづくり実行委員会

会長 岩堀好男



4月に発足した平成25年度の「まちづくり事業」について各部会から抱負や計画を寄せていただきました。（「広報部会」は別途報告します。）

交通部会 — 今こそ住民の総意を結集し成功に！ —

日新地区住民の皆さん、毎日お元気で暮らすの事と思います。御承知のように我が日新のコミュニティーバスは昨年11月よりの試行運行スタート以来、7ヶ月を経過しましたが、これまでの状況を見ると乗車率が極めて悪い結果であり、この状況をもとに今後の本格運行を予測すると、このまま増加しない場合には行政の許可が下りず、事業廃止に至ることは間違いないと思われます。

せっかく勝ち得た事業を、お互いの恩恵とその対応によって「負」の結果に至らせることだけは是非とも避けたいものです。

先日の日新区民体育大会の折に、市長のメッセージにも大きく取り上げられていました。「日新には新しいシンボルが全員の総意によってできた・・・それは新しいコミュニティーバスである」との文面でした。

私たちは、この事業を絶対に失敗させる訳にはいきません。

これからの超高齢化という時代背景のもと、高齢者の方々の日々の暮らしの中で、少しでもプラスになるよう気軽に活用していただき、そして喜んでいただけるような交通環境の確立の促進のために、住民の皆さまのお力添えを是非ともよろしくお願い致します。

- ① 気軽に乗ろう、便利に活用
- ② 各団体の強力なる協力を宜しく
- ③ ルート、目的地、時間割等々も検討中
- ④ 日新のニューシンボル「さんさんバス」の灯は絶対に消さないように
- ⑤ ひとつになろう、わがまち日新



山口 満

文化部会 — 事業計画 —

- ・7月5日(金) 伝統文化体験学習支援く茶道・華道> 講師 茶道 岡田えつ子氏 華道 横山紀子氏 文化部会は会場準備や子ども達の補助を行います。
- ・9月 秋の七草観賞とお月見団子作り 秋の七草を集めて花瓶に活け、子ども達に説明します。また親子で月見団子を作って食べます。食べながら、紙芝居を見たり、童話を聞いたり、ゲームをしたりします。
- ・10月19日(土) 公民館まつり前日祭ウォーク ウォーク後、おろし蕎麦を食べ、お楽しみ抽選会を行います。
- ・12月 クリスマス会 放課後子ども教室の児童を対象にゲームをしたり、クリスマスの歌を歌ったりします。
- ・2月 百人一首かるた会 百人一首かるたで坊主めくりやカルタ取り、日新かるたも行い、成績優秀な人に景品を渡します。ゲームが終わってからみんなでカレーライスを頂きます。
- ・3月 合同学習発表会

山崎 豊

環境部会 — 事業計画 —

環境部会は、4月28日の定例清掃で25年度の活動が始まりました。またこの日、年間事業計画も決定しました。今年度は前年度とほぼ同じ事業を取り組むこととし、中身を濃くすることによって内容の充実を図れるようにしたいと考えています。

活動の中心は、「定例清掃・一斉清掃」にあります。地区の皆さんに気持ちよい憩いの場を提供しようと底喰川河川敷内外の美化に皆さんのご協力を得ながら努めたいと思います。昨年増設した花壇の整備をすすめ、花しょうぶやカキツバタを楽しみ観賞していただこうと思っています。次に体験事業として引き続き、「布ぞうりづくり」「生きもの観察会」を計画。ぞうりづくりは、『破棄前にもう一度利用を考え、モノの大切さを知る。』観察会は、『底喰川の現状と水質を生きものを通して知ってもらおう。同時に「川」を汚さない気持ちを育ててもらおう。』ことを願って実施します。

その他、公民館が実施する「福井学」・「子どもの広場」等を要請に応じて側面から支援していくことにしております。

何れにしても、地域のまちづくり・美化活動は皆さんの協力なくしては実現できません。ご理解とご支援をお願いします。 前川栄寛



「花壇」もこんなに綺麗になりました。(4/28)



ゴミがなく美しい底喰川 (4/17 阪井一彦氏写す)



井上家 (大宮)

上段 3姉弟

女の子は歌とおどりが大好きです。男の子は将棋が好きです。

松山家 (文京)

下段 4兄弟

長男が小学1年生になりました。次男、三男、四男は保育園で頑張っています。

母同士が姉妹なので仲良しのいとこだよ。 みなさん、どうぞ、よろしくお願ひします。

わがまち堀ノ宮北自治会

自治会長 (日新地区自治会連合会会長) 野村純一

当自治会は、約50世帯、200名弱の規模で、日新地区西北端に位置し、スーパーから自動車店までが並ぶ明里橋通りで西藤島地区に接しています。

「堀ノ宮」という地名の由来は定かではなく、「方便法身尊形」の掛軸(市立郷土歴史博物館に寄贈し保管)の裏銘などから、室町時代には相当まとまった村だったと推定されています。現在の堀ノ宮北町、中町が当時の村落の中心で、周囲は田畑で、位置は、沢山の字名で区分され、稲作中心の農村でした。

昭和40年代に入り福井市の都市計画・区画整理事業が実施され、昭和50年代には日新地区誕生に伴って大きく変遷しました。それまで西藤島地区に所属していた旧堀ノ宮町は、町名変更するとともに、最終的に6つの自治会に分離し、4つが日新地区、2つが西藤島地区に入り、地名も当自治会は、大宮6丁目になり、自治会名に堀ノ宮の呼称が残るのみです。小学校、中学校区の変更など行政面、道路や住宅造成など市街化開発も進みました。少子高齢化も徐々に進み農村地帯から市街地域に変貌しました。専業農家も無く、家庭菜園が散在する程度で、中壮年層の地域活動離れが、自治会共通の悩み、検討課題となっています。

他方、防災、体育、文化福祉、ボランティア活動などに積極的な中高年も輩出しており、リーダーの役割をお願いし地域の活性化を進めています。当町住民は、堀ノ宮白山神社の祭事、仏閣(堀ノ宮は、かつて、了勝寺の総門徒であった)の宗教行事、旧住民による堀ノ宮会、青壮年の集いである親友会、近隣地域の各種行事などに参加して協同活動し、親睦を深め、絆を強めています。

また、夕道公園が造成され、憩いの場、遊び場、災害時の1次避難所となり、年3回の一斉清掃時、自治会員が協力し周辺の川と併せ清掃しています。自治会員の当番制による町内パトロール、ゴミステーションの管理運営、救援を核にする防災訓練などを活動基盤として継続し、単一自治会活動から堀ノ宮ブロック、日新地区の中での連帯活動へと広げて、参加・協力を惜しまない自治会を目指しています。

戦災以降、福井地震、日野川と九頭竜川の引続く2度の水害には当自治会も全面的な被害を受けました。当時を耐え凌いだ住民も少なくなり記憶も薄らいできています。伝統文化や貴重な体験を語り継ぎ、今後に活かしていくには、住民相互の意志結集力が必要であり、住みよい町づくりを自治会活動の根幹にしたいと思ひます。

伊能忠敬は、1800年代に日本全国を測量し、地図を作ったことで知られています。1803年に東海・北陸の測量を行いました。このとき越前に入り、6月17日、日野川に沿って海老助村に渡り、そして堀ノ宮で昼食を摂ったと記録されています。今から210年前のことです。(日新かるた解説書参考)

「日新かるた」紹介(2)



ほ

堀ノ宮

ただたかそりよう 忠敬測量

一休み